

【育てたい資質・能力】

渋谷区

- 自己調整力  
自ら考え判断し学び続けていく子
- 創造力  
多様な仲間と協働し新たな価値を生み出す子
- 挑戦力  
自分が思い描く未来を実現していく子

社会・企業の要請

- 議論し合う力
- 協働し合う力
- 創造力
- 好奇心
- 計算的思考
- 疑問を残さない思考性



KAKEZUKA Slogan  
加計塚小経営目標

一人を大切に、共に学び合い  
喜び合える人材の育成

【Qualities 育てたい資質・能力】

聴き合う力

伝え合う力 ※重点

学び合う力ー協働し合う力

深め合う力ー創造力

喜び合う力ー喜び合える力

多様な児童相互、児童と教員・保護者や地域・外部人材が、共に関わり合い、学び合い、深め合うことで、互いに喜び合える価値を創造する力を育成します。

【育てたい資質・能力】

保護者・地域の願い

- 個性の伸長
- 多様な他者との協働性
- 地域・社会への貢献・後継
- デジタル・シティズンシップ

【※探究的な学習活動】



【Mission 使命・責務】令和6年度 重点カリキュラム  
探究シブヤ未来科

自分が興味をもった人、もの、ことの中から問題を見だし、その解決に向けた※探究的な学習活動を通して、課題の解決に必要な知識及び技能、資質・能力を身に付けるとともに、多様な児童・保護者や地域・企業等相互に関わり合い、学び合い、深め合い、貢献し合うことで、自他共に喜び合える価値を創造する力を育成します。

4月 5月 6月 7月 8月

9月 10月 11月 12月  
(発表)

1月 2月 3月  
(発表)

A 教科・単元による探究  
(探究基礎)

<4月～ 70時間前後>

教科・単元で習得した力を、さらに活用して、自ら問いを立てて探究・表現し、解決する基礎・基本となる能力を深める学び

- 上乘せ教科 ※各年間指導計画 参照
- ・国語・社会・算数・理科・音楽
  - ・図工・家庭・体育・外国語
  - ・運動会/音楽会プロジェクト
  - ・地域、企業体験学習

※探究 type A  
テーマ・プロセスは同じ、アウトプットは一人一人異なる学び

B 加計塚プロジェクト  
(共通テーマによる探究)

<7月～12月 50時間前後>

恵比寿地域・企業等と協働し、自ら問いを立てて探究・発表し、役に立つことで自他共に喜び合える学び

- 探究課題 ※各学年計画シート 参照
- 3年 給食から学校変えようプロジェクト
  - 4年 加計塚防災キャラバン
  - 5年 私の未来設計図(インター体験活動)
  - 6年 (Kakezuka 菜園プロジェクト)

※探究 type B  
テーマは同じ。プロセス、アウトプットは一人一人異なる学び

C MY 探究  
(個別テーマによる探究)

<12月～3月 30時間前後>

AおよびBで習得した力を、さらに活用して、自ら問いを立てて探究・発表し、解決する能力を深める学び

- 探究課題
- 3年 お家のロス減少プロジェクト
  - 4年 家庭防災強化大作戦
  - 5年 私の未来設計図(インター体験活動)
  - 6年 (Kakezuka 菜園プロジェクト)

※探究 type C  
テーマ、プロセス、アウトプットは一人一人異なる学び

# 加計塚プロジェクト 全体計画

|   |  |
|---|--|
| <p><b>【学校教育目標】</b> 人権尊重の精神を大切に、知性、感性、道徳心や体力をはぐくみ、人間性豊かな児童の育成を目指す。</p> <p><b>【教育目標】</b><br/>○よく考える子 ○心豊かな子 ○元気な子</p> | <p><b>【目指す児童像】</b> 「一人を大切にして、共に学び合い、喜び合える学校」<br/>児童相互、教員と児童、児童と保護者・地域・企業等が、聴き合い、伝え合い、学び合い、深め合う対話的・協働的な学習を通して、新たな価値を創造する学習活動を行う。学んだ成果を伝え合い、相手の役に立ち「喜んでもらう」、そして褒めてもらい、自分たちも互いに「喜び合う」ことに価値を見い出す児童の育成を目指す。</p> |
|---|--|

**【本校の総合的な学習の時間の目標】** 探究的な見方・考え方を働かせ、自分の生活や身近な地域における横断的・総合的な学習を行うことを通して、唯一の正解が存在しない課題に対して、自他の思いや願いを尊重しながら解決するとともに、自己の生き方考えることができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。

- 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、自分の生活や身近な地域にはそれぞれのよさやつながりがあることや、諸問題の解決に向けて連携や協力がなされ、そこには自分にもできることがあるということが分かる。
- 自分の生活や身近な地域の中から問いを見いだし、価値ある課題を自分で立て、手段を選択して情報を集め、各教科等で学習したことを活用しながら整理・分析して、相手や目的に応じてまとめ・表現する力を身に付ける。
- 探究的な学習に主体的・協働的に取り組み、自他の思いや願いを尊重し、身近な地域に役に立とう、喜んでもらおうとする態度を育てる。

## 【本校の加計塚プロジェクトの内容】

| 学年          | 目標実現にふさわしい探究課題   | 探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力                                     |  |   |  |
|-------------|--|--|--|---|--|
|             |  | ① 知識及び技能   | ② 思考力・判断力・表現力等   | ③ 学びに向かう力、人間性等  |  |
| 3年          | SDGsの取組を知り、私たちの未来をよくしていくために、食品ロスの問題を解決する。<br><b>【給食で学校変えようプロジェクト】</b>              | ・SDGsの取組は未来の社会にとって大切であることが分かる。<br><b>《A 知識》</b>                | ・アンケートやインタビューを、相手や場面に応じた適切さで実施する。<br><b>《B 技能》</b><br><br>・自分の生活や身近な地域についての理解は、探究的に学習してきたことの成果であることに気付く。<br><b>《C 探究的な学習のよさの理解》</b>    | ・自分の生活や身近な地域の中から問いを見いだし、思いや願いを基に課題を立てる。<br><b>《A 課題の設定》</b><br>・目的に応じて手段を選択し、情報を収集・蓄積する。<br><b>《B 情報の収集》</b><br>・事実を捉えるために、比較する、分類する、関連付けるなどして情報を整理・分析する。<br><b>《C 整理・分析》</b><br>・自分の伝えたいことを明確にし、方法を工夫しながらまとめ・表現する。<br><b>《D まとめ・表現》</b>              | ・自分のよさを理解しようとしたり、異なる意見や他者の考えを受け入れたりしようとしている。<br><b>《A 自己理解・他者理解》</b><br>・自分の意思や自他の良さを生かしながら、地域や専門家の人々と協働して問題の解決に取り組む。<br><b>《B 主体性・協働性》</b><br>・身近な地域の問題に関心をもち、よりよくしていこうとする。<br><b>《C 将来展望・社会参画》</b>                           |
| 4年          | 私たちの生命を守る防災・減災について探究し、よりよい備えを構築するための価値観・考えを提案する。<br><b>【防災・減災】「加計塚防災キャラバン」</b>     | ・学校や街には様々な防災・減災設備があり、生命と安全を守るしくみがある。<br><b>《A 知識》</b>          | ・情報の質や量、今後の見通しを踏まえ、適切な方法を用いて情報を整理する。<br><b>《B 技能》</b><br><br>・自分の生活や身近な地域についての理解は、探究的に学習してきたことの成果であることに気付く。<br><b>《C 探究的な学習のよさの理解》</b> | ・見通しをもって価値ある課題を自分で立て、解決の方法や手順を考える。<br><b>《A 課題の設定》</b><br>・目的に応じて手段を選択・工夫し、情報を収集したり、見通しをもって蓄積したりする。<br><b>《B 情報の収集》</b><br>・考えるための技法を駆使しながら、情報を整理・分析し、課題に即して判断する。<br><b>《C 整理・分析》</b><br>・自分の意見や立場を明確にし、相手や目的に応じて分かりやすくまとめ・表現する。<br><b>《D まとめ・表現》</b> | ・自分のよさや可能性を理解しようとしたり、異なる意見や他者の考えを受け入れたりしようとしている。<br><b>《A 自己理解・他者理解》</b><br>・自分の意思や自他の良さを生かしながら、目的意識をもち、地域の企業や人々と協力して粘り強く問題の解決に取り組む。<br><b>《B 主体性・協働性》</b><br>・地域の問題を自分事として捉え、自分にできることを考えよりよくしていこうとする。<br><b>《C 将来展望・社会参画》</b> |
| 5年<br>6年    | 私たちの生活をよくする企業の役割を探究し自分が選んだ企業インターン体験を通して問題を解決し自他のよさを探究する。<br><b>【キャリア】「私の未来設計図」</b> | ・多様な仕事があることを知り、地域の人々の未来のために、働いている人々の思いや役割を知る。<br><b>《A 知識》</b> | ・自分の生活や身近な地域についての理解は、探究的に学習してきたことの成果であることに気付く。<br><b>《C 探究的な学習のよさの理解》</b>  | ・見通しをもって価値ある課題を自分で立て、解決の方法や手順を考える。<br><b>《A 課題の設定》</b><br>・目的に応じて手段を選択・工夫し、情報を収集したり、見通しをもって蓄積したりする。<br><b>《B 情報の収集》</b><br>・考えるための技法を駆使しながら、情報を整理・分析し、課題に即して判断する。<br><b>《C 整理・分析》</b><br>・自分の意見や立場を明確にし、相手や目的に応じて分かりやすくまとめ・表現する。<br><b>《D まとめ・表現》</b> | ・自分のよさや可能性を理解しようとしたり、異なる意見や他者の考えを受け入れたりしようとしている。<br><b>《A 自己理解・他者理解》</b><br>・自分の意思や自他の良さを生かしながら、目的意識をもち、地域の企業や人々と協力して粘り強く問題の解決に取り組む。<br><b>《B 主体性・協働性》</b><br>・地域の問題を自分事として捉え、自分にできることを考えよりよくしていこうとする。<br><b>《C 将来展望・社会参画》</b> |
| 令和7年度<br>実施 | 生産、販売、消費それぞれの工夫や人々の願いを知り、商品開発、販売を体験し、自他共に喜び合える提案をする。 <b>【食】「Kakezuka 菜園プロジェクト」</b> | ・野菜栽培の方法や、生産、商品開発、販売、消費に携わる人々の工夫や願いが分かる。<br><b>《A 知識》</b>      | ・自分の生活や身近な地域についての理解は、探究的に学習してきたことの成果であることに気付く。<br><b>《C 探究的な学習のよさの理解》</b>  | ・見通しをもって価値ある課題を自分で立て、解決の方法や手順を考える。<br><b>《A 課題の設定》</b><br>・目的に応じて手段を選択・工夫し、情報を収集したり、見通しをもって蓄積したりする。<br><b>《B 情報の収集》</b><br>・考えるための技法を駆使しながら、情報を整理・分析し、課題に即して判断する。<br><b>《C 整理・分析》</b><br>・自分の意見や立場を明確にし、相手や目的に応じて分かりやすくまとめ・表現する。<br><b>《D まとめ・表現》</b> | ・自分のよさや可能性を理解しようとしたり、異なる意見や他者の考えを受け入れたりしようとしている。<br><b>《A 自己理解・他者理解》</b><br>・自分の意思や自他の良さを生かしながら、目的意識をもち、地域の企業や人々と協力して粘り強く問題の解決に取り組む。<br><b>《B 主体性・協働性》</b><br>・地域の問題を自分事として捉え、自分にできることを考えよりよくしていこうとする。<br><b>《C 将来展望・社会参画》</b> |

## 【探究的な学びの「まとめ・表現」方法】

|  |  |   |
|--|--|---|
| <p>・探究シブヤ未来科「加計塚プロジェクト発表会（仮称）」もしくは「かけがえ EXPO（学習発表会）」を11月および2月に開催する。</p> <p>・各学年共通テーマおよび My 探究による探究的な学びの成果を発表する。展示、Web、プレゼン、発表会、イベント交流会、販売等</p> |  |   |
| <p><b>【学習活動】</b></p> <p>・年間50時間以上、展開する。</p> <p>・児童の興味・関心と教師の願い、教材の特性を踏まえた学習活動を展開する。</p>  | <p><b>【指導方法】</b></p> <p>・「考えるための技法」の積極的な活用</p> <p>・ノート指導の充実</p> <p>・発問の明確化と板書の工夫</p>           | <p><b>【指導体制】</b></p> <p>・学期の始めと終わりに、活動計画の立案や振り返りの時間を設定する。</p>           |
| <p><b>【学習評価】</b></p> <p>・ポートフォリオを活用した評価の充実</p> <p>・年度末における単元の活動計画の振り返りとそれを通じた評価の実施</p>   | <p><b>【各教科等との関連】</b></p> <p>・教科等横断的な学習の推進</p> <p>・各教科、単元の学習で習得した力を活用</p> <p>・学級担任と専科教員との連携</p> | <p><b>【地域との連携】</b></p> <p>・地域学校協働活動推進委員を通じた地域の町会・避難所連絡会議・企業・飲食店等と連携</p> |

